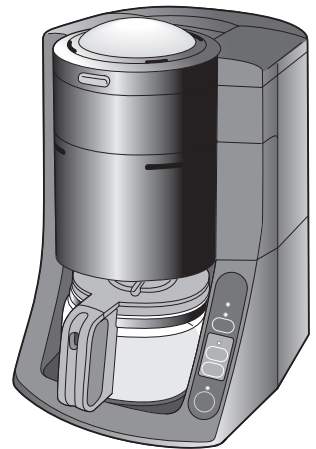


Panasonic®

取扱説明書

沸騰 浄水 コーヒーメーカー
(家庭用)

品番 NC-A56



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4～5ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

パナソニックの会員サイト「**CLUB Panasonic**」で「ご愛用者登録」をしてください。(P.15をご参照)

保証書別添付

豆をひいてドリップまで全自動

◆ 香り高いコーヒーをご自宅で
ひき方、抽出コースの組み合わせでお好みのコーヒーが楽しめます。

- 同じ組み合わせでも、豆の種類によって味が変わります。
- コーヒー名称は参考例です。

コース メッシュ フィルター	マイルド		リッチ	
	粗びき	中細びき (ふつう)	粗びき	中細びき (ふつう)
	渋み少なく マイルドに ・まるやかなストレート ・アメリカンコーヒー 	渋みをおさえて 後味良く ・スペシャルティコーヒー※ ・ブレンドコーヒー 		
	コクと苦味の バランス ・コクのあるストレート ・ブレンドコーヒー 	コク、苦味を しっかりと ・アイスコーヒー ・カフェオレ 		

※際立つ素晴らしい風味を持つとともに、豆の栽培から流通、ばい煎までの品質管理を適正に行われたコーヒーの中でも、特に認められたもの。

豆から全自動で ひきたてのおいしさ

豆と水をセットしたら、ボタンを押すだけでマイコン制御により、豆をひいてコーヒーを自動的に蒸らして抽出します。

充実機能

- 豆をひき終わったら豆容器を自動でお掃除 **シャワーオートクリーニング** (P.10～11)
- ドリップが終了して2時間後に自動OFFする **保温自動OFF** (P.10～11)
- でき上がりを **ブザーでお知らせ** (P.10～11)
- 酸味を抑えてソフトな味わいに **ミネラルフィルター** (P.9)

沸騰浄水

沸騰と活性炭フィルターの効果でカルキを90%以上カット。
コーヒー本来の味を引き出します。

- 必ず活性炭フィルターを取り付けてください。(P.6)

もくじ

ページ

確認とご注意

安全上のご注意	4
各部の名前・付属品と扱い方	6

毎日の使い方

コーヒーをいれる	8
コーヒーをいれる(お好みで楽しむ)	12
お手入れ	13

お知らせ

消耗品・別売品について	15
故障かな?	16
保証とアフターサービス	18
仕 様	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や
損害の程度を区分して、説明しています。

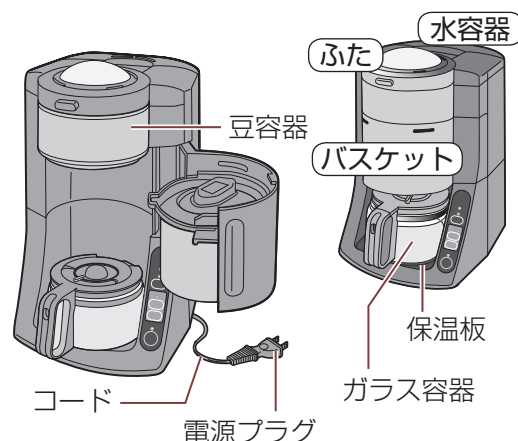
警告 「死亡や重傷を負うおそれがある
内容」です。

注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が
発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
(次は図記号の例です)

 してはいけない
内容です。

 実行しなければ
ならない内容です。



発火や、
けがなどを
防ぐために…

注意

■本体の取り扱いは
 次のことをしない

- 不安定な場所や熱に弱い敷物の上、火気の近くやIHクッキングヒーターの上で使わない
(火災の原因)
- 抽出中にガラス容器を外さない
➡ふたやバスケットも開けない。
- 保温中に水を追加したり、水容器に水が入っている状態で保温/取消ボタンを押さない
- ガラス容器を載せたまま本体を動かさない
(やけどの原因)
- 豆容器の刃は鋭利なため、直接手を入れない、触れない
(けがの原因)
➡粉を落とすときは棒などを使う
- 壁や家具の近くで使わない
(蒸気による変形・変色の原因)

 使用中や使用後しばらくは
保温板やその周辺に手を触れない
接触禁止 (やけどの原因)
➡水容器やふた周辺にも触らない。

■電源プラグやコードは

 次のことを守る

- 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
(絶縁不良による感電や火災の原因)
- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず電源プラグを持つ
(感電・ショートによる発火の原因)

 お手入れは冷えてから行う
(やけどの原因)

➡持ち運びや、活性炭フィルター、メッシュフィルターの取り外しも本体が冷えてから行う。

警告

■電源プラグやコードは

 次のことをしない
(ショート・絶縁不良・劣化などによる発火・感電の原因)

- 電源プラグ・コードを傷めない
傷付ける、加工する、高温部に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる、挟み込むなど
- コードが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない
➡コード・電源プラグの修理は販売店にご相談ください。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外での使用はしない
(たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因)

 次のことを守る

- (発煙・発火・感電の原因)
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
 - 電源プラグのほこりなどは定期的に取り
(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因)
➡電源プラグを抜き、乾いた布でふく。

 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く
(発煙・発火・感電・けがの原因)

- <異常・故障例>
- 電源プラグ・コードが異常に熱くなる。
 - コードに傷が付いたり、通電したりしなかったりする。
 - 本体が変形したり、異常に熱くなったりする。
 - 使用中に異常な回転音がする。
 - ➡すぐに販売店に点検・修理を依頼してください。
 - ガラス容器の取っ手がぐらついたり、容器にひび割れなどができた。

■本体は

 自分で絶対に分解や
修理、改造をしない
(火災・感電・けがの原因)
➡修理(消耗部品の交換は除く)は販売店にご相談ください。

本体を水につけたり、
水をかけたりしない
(感電・ショートによる
発火の原因)

子供など取り扱いに
不慣れな方だけで使
わせたり、乳幼児に
触れさせたりしない
(感電・けがの原因)

■使用中は

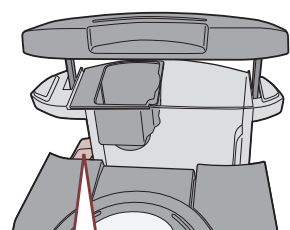
 ガラス容器なしで
使わない
(やけどの原因)

 蒸気が出る所に
触ったり、顔などを
近づけない
接触禁止 (やけどの原因)

各部の名前・付属品と扱い方

水容器

■取り外し方・取り付け方

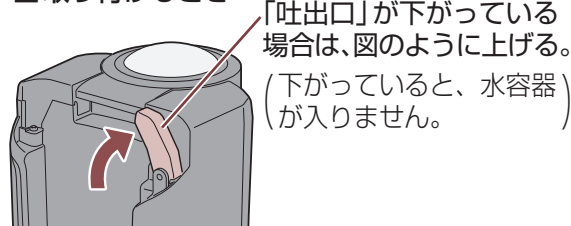


取り外す

取り付ける

●奥まで
押し込む。

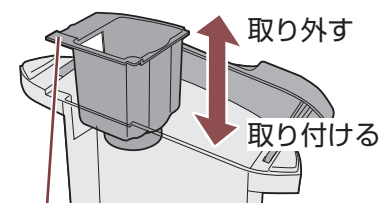
■取り付けるとき



「吐出口」が下がっている場合は、図のように上げる。
(下がっていると、水容器が入りません。)

■活性炭フィルターを着脱するとき

水容器を本体から取り外した状態で行う。



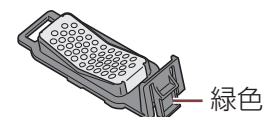
取り外す

取り付ける

「ツバ」を左側に向け、水容器の左端にセットする

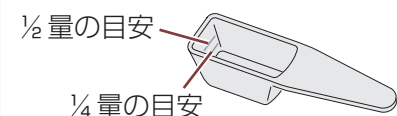
付属品

メッシュフィルター(粗びき) (1個)



緑色

計量スプーン※1 (1個)



ペーパーフィルター※2 (5枚)



●市販のものも使えます。
サイズ：(1×2)または(102)

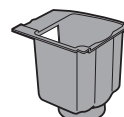
※1 梱包用の発泡スチロールの上に入っています。

※2 取扱説明書が入っている袋の中にあります。

コーヒー豆・粉
すりきり1杯約7～8g
●豆の種類や、ばい煎の
度合いによって重さは
異なります。

活性炭フィルター

消耗部品 (P.15)



●初めて使うときは、
微粉を落とすために
必ず流し洗いのする。
(P.13)

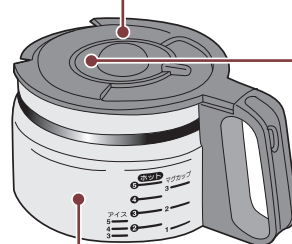
豆容器

メッシュフィルター (中細びき) (P.12)

本 体

保温板

ガラス容器ふた



ミネラル フィルター (P.9)

●交換は不要
です。

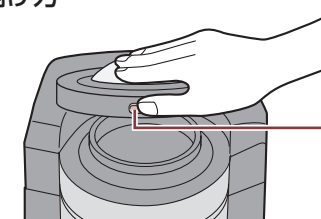
ガラス容器 (完成ガラス容器)

●目盛りはでき上がり量の目安。
1カップ：ホット(約120ml)
アイス(約60ml)
マグカップ(約180ml)

操作部 コード 電源プラグ

豆容器ふた

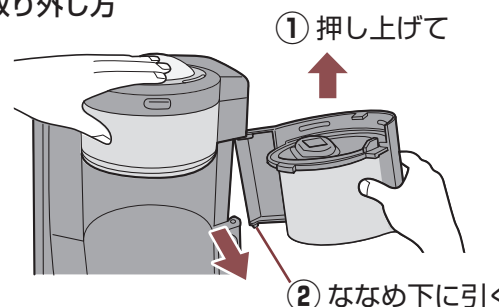
■開け方



ボタンを押して
開ける

バスケット

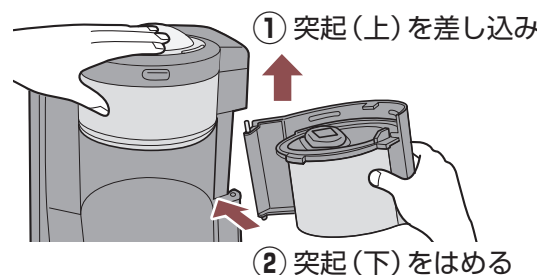
■取り外し方



① 押し上げて

② ななめ下に引く

■取り付け方



① 突起(上)を差し込み

② 突起(下)をはめる

ご使用前に

初めて使うときや長期間使っていないときは、次のように洗浄してください。

- ① 各部品を洗う (P.13～14)
- ② 取り付ける
- ③ 水容器の目盛り「ホットコーヒー 5」まで
水を入れて を押して抽出する (P.10)
- ④ を押して切り、湯を捨てる
(③～④を1～2回繰り返す)

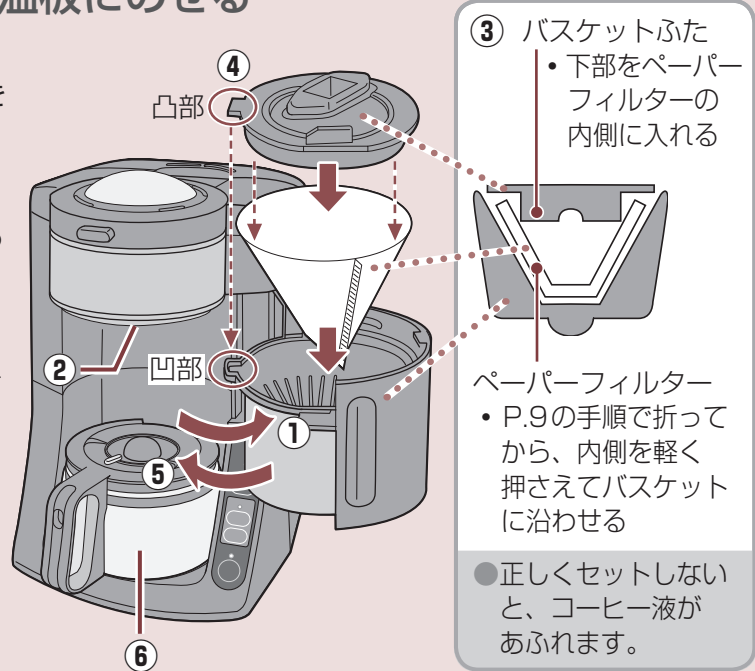
ご使用上のお願い

- 豆容器にコーヒー豆以外を入れないでください。
(故障の原因)
- 水容器に水以外(お湯・牛乳など)を入れないでください。
(故障の原因)
- ガラス容器を他の熱源(電子レンジやコンロなど)にかけたり、傷をつけたりしないでください。
(破損の原因)

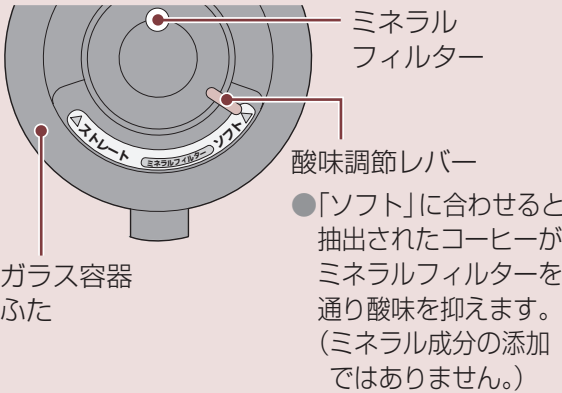
コーヒーをいれる

1 ペーパーフィルターをバスケットにセットし ガラス容器を保温板にのせる

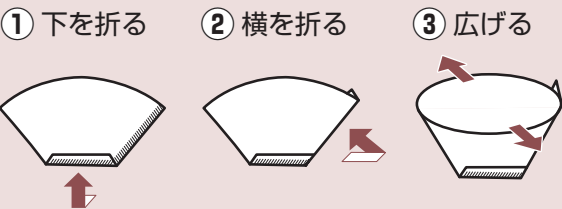
- ① バスケットを開ける
- ② メッシュフィルターを取り付ける (P.12)
- ③ バスケットふたを取り外してペーパーフィルターをセットする
- ④ バスケットふたを取り付ける
・ふたの凸部とバスケットの凹部をあわせる
- ⑤ バスケットを閉める
- ⑥ ガラス容器を保温板にのせる



酸味調節のしかた

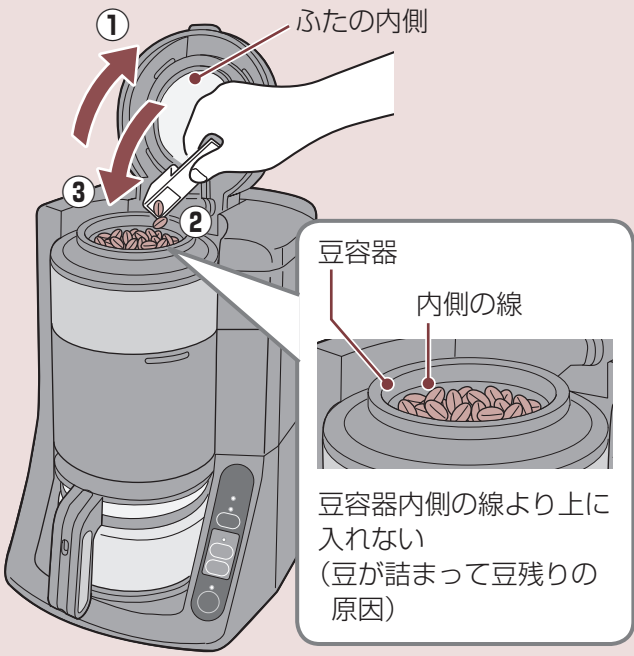


ペーパーフィルターの折り方



2 コーヒー豆を豆容器にいれる

- ① 豆容器ふたを開ける
- ② 豆を入れる
- ③ ふたを閉める

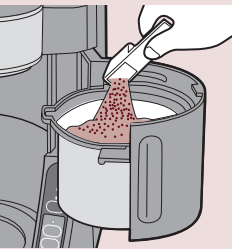


注意してください

- ふたの内側・豆容器・メッシュフィルターがぬれている場合はふき取ってください。(豆が付着して容器内に残ります。)
 - 湿った豆*を入れないでください。(ブザーと表示で知らせ、運転が止まります。P.17)
- ※スプーンで押しても簡単に砕けない豆です。

コーヒー粉を使うとき

ペーパーフィルターにコーヒー粉を入れる



- コーヒー粉はペーパーフィルター用(中びき粉)を使ってください。
- 豆容器に入れしないでください。(抽出時に豆容器からコーヒー液があふれ故障の原因)

お願い

- バスケットふたを正しくセットしてください。
- 豆容器ふた、バスケットは確実に閉めてください。(確実に行っていないと、ボタンを押してもブザーで知らせてスタートしません。P.16)

コーヒー豆(粉)量の目安 計量スプーンすりきり と でき上がり時間の目安 室温・水温20℃

	でき上がり カップ数	量の目安	時間の目安
アイスコーヒー	1カップ	設定できません	
	2カップ	2¼杯	約6分
	3カップ	3¼杯	約7分
	4カップ	4¼杯	約7.5分
	5カップ	5杯	約8分

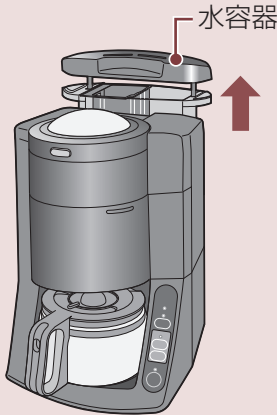
	でき上がり カップ数	量の目安	時間の目安
ホットコーヒー	1カップ	1¼杯	約6分
	2カップ	2¼杯	約7.5分
	3カップ	3¼杯	約8.5分
	4カップ	4¼杯	約10分
	5カップ	5杯	約11分

	でき上がり カップ数	量の目安	時間の目安
ホットコーヒー (マグカップ用)	1カップ	2杯	約6.5分
	2カップ	3¼杯	約8.5分
	3カップ	4¼杯	約10.5分
	4カップ	設定できません	
	5カップ		

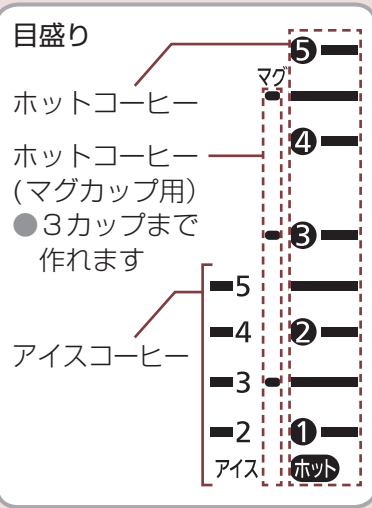
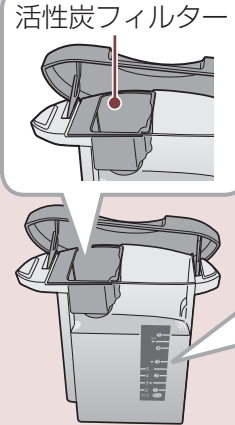
- 計量スプーンすりきり5杯を超える量を入れないでください。(豆詰まりによる豆残り・ふた周辺からの湯やコーヒー粉の飛び散り・バスケットからのコーヒーあふれ・モーター故障の原因)
- でき上がり時間について
 - ・「マイルド」コースは、約1分短くなります。
 - ・コーヒー粉を使うときは、約1分短くなります。
- でき上がり時間・温度は、室温・水温などによって異なります。

3 水容器に水を入れ、本体にセットする

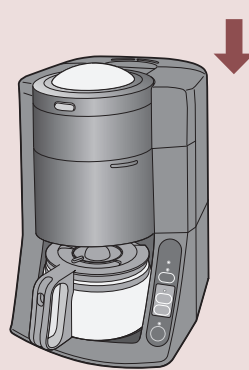
① 水容器を本体から取り外す



② 目盛りにあわせて水を入れる



③ 本体にセットする



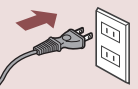
お願い

- 活性炭フィルターが付いているか確認してください。
- ホットコーヒーの目盛り「5」を超える水を入れないでください。(故障の原因)
- 水容器を奥まで押し込み、確実にセットしてください。(セットしていないと、ブザーと表示で知らせ、運転が止まります。P.17)
- 水容器を本体にセットしてから水を入れないでください。(水が水管に流れ込むため水量が多くなります。)
- 活性炭フィルターに水を注がないでください。(水が横から漏れます。)
- 本体にセットした後は、水容器を外さないでください。(本体から水が出てきます。)
- 水容器に、お湯を入れないでください。(勢いよく多量の蒸気が出ます。)

コーヒーをいれる

4 電源プラグを差し込み希望のコースを選んでスタートさせる

① 電源プラグを差し込む



② コース選択 を押しコースを選ぶ
(選んだコースランプが点滅)

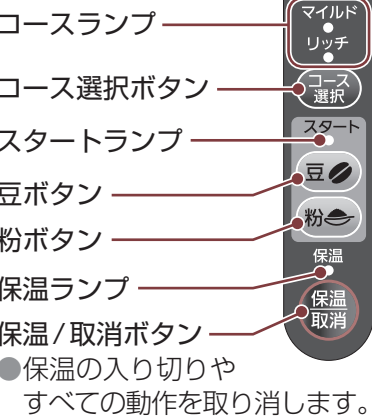
③ 豆または粉ボタンを選んで押す
(スタートランプが点灯)

自動的に保温

④ 抽出が終了したらコーヒーを注ぐ

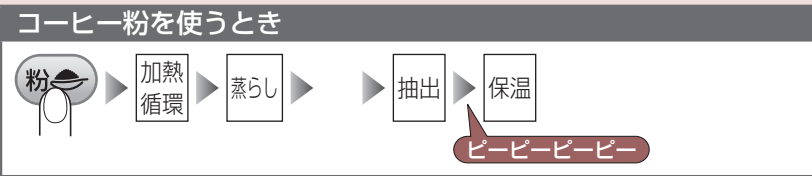
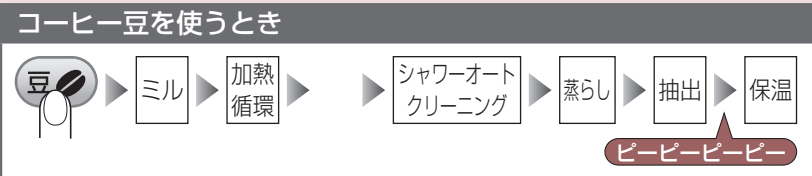
⑤ 使用後は保温 を押し保温を切り、電源プラグを抜く

【操作部】



● コース選択 を押すごとに、コースランプが「マイルド」と「リッチ」に切り替わります。

● ひき始めは大きな音がします。



● 抽出終了後は自動的に保温します。(約2時間)

● コーヒーがあふれだすのでガラス容器を傾けすぎないでください。



切り忘れを防止するために、保温は約2時間で自動的に切れます。

● コーヒーをいれているときは、モーターの音や水が本体内を循環する音がします。

途中でコースを変更するとき

コースランプ 点滅中(約20秒間)に変更する。

豆 と 粉 を 間違って押したとき

- コーヒー豆を使うときに 粉 を押した → 取り消して、豆 でやり直す。(豆がめれている場合は、新しい豆でやり直してください。)
- コーヒー粉を使うときに 豆 を押した → ブザーと表示で知らせ、運転が止まります。(P.17)

コーヒーをいれる(お好みで楽しむ)

続けてコーヒーをいれるときは

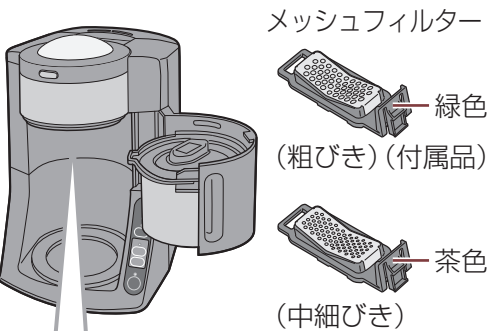
- ① **保温**を押して電源を切る
- ② ふたの内側・豆容器の水分をふき取る
(豆を使うときのみ)
- ③ P.8～11の手順**1～4**に従ってコーヒーをいれる
 - 水容器は、電源を切って2～3分たってからセットしてください。(すぐにセットすると蒸気が勢よく出ます。)
- 続けてコーヒーをいれると、2回目以降は味が濃くなることがあります。

熱いコーヒーがお好みのかたは

- あらかじめカップを熱湯などで温めておいてから注いでください。
- ホットコーヒーの保温は15分くらいまでとしてください。(風味を損なわないため)

メッシュフィルターとコース選択で組み合わせる

メッシュフィルター(中細びき／粗びき)とコースの組み合わせでお好みの味に仕上げます。
● お買い上げ時には、中細びきを取り付けられています。



コース	マイルド	リッチ
粗びき	渋み少なくマイルドに ・まろやかなストレート ・アメリカンコーヒー	渋みをおさえて後味良く ・スペシャルティコーヒー※ ・ブレンドコーヒー
中細びき(ふつ)	コクと苦味のバランス ・コクのあるストレート ・ブレンドコーヒー	コク、苦味をしっかりと ・アイスコーヒー ・カフェオレ

※際立つ素晴らしい風味を持つとともに、豆の栽培から流通、ばい煎までの品質管理を適正に行われたコーヒーの中でも、特に認められたもの。

メッシュフィルターは豆容器の下側にあります。

- 取り付け、取り外しは本体が冷えてから行ってください。

■ 取り外し方

つまみを矢印方向に動かす。

■ 取り付け方

① ツバ部に引っ掛け

② つまみ側をカチッとなるまで押し込む

お手入れ

- 必ず電源プラグを抜いて、各部が冷えてから行ってください。
- 台所用洗剤(中性)を使う場合は、薄めて使ってください。塩素系の洗剤は使わないでください。(さびや故障の原因)
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥器・熱湯は使わないでください。(変形や割れる原因)
- いつも清潔な状態に保つため、使用のたびにお手入れを行ってください。

本体・ふた・豆容器

よく絞ったふきんでふき、乾かす

ふたの内側

- 飛び散った粉はふき取る

メッシュフィルター

やわらかいスポンジで洗い、よく乾かす

- 取り外してください。(P.12)
- (取り外したら、豆容器に詰まった豆・粉を取り除いてください。)
- 棒などで刃を回して粉を落とす(指で落とさない)

保温板

汚れは、こまめにふき取る

- 洗剤を使う場合は、必ず薄めた中性洗剤を使ってください。(漂白剤、酸性・アルカリ性洗剤を使うと、保温板の表面コートが剥がれる原因)

水容器・活性炭フィルター・バスケット・バスケットふた・ガラス容器・ガラス容器ふた

やわらかいスポンジで洗う

A 活性炭フィルター

取り外して洗い流す(P.6)

- ブラシ・洗剤・漂白剤などを使わないでください。(傷やにおいが付いたり浄水効果がなくなります。)

B 滴漏れ防止弁

取り外して洗い流す(P.7)

① 水を入れる

② 滴漏れ防止弁を押し上げたまま2～3回振る

- ガラス容器を外したときに、残った滴がバスケットから漏れないようにするものです。(粉が詰まると、弁が動かなくなりバスケットからコーヒーが漏れる原因)
- バスケットの中にあるリングが外れないようにご注意ください。(上から見たとき)

C ガラス容器ふた

- 洗剤・漂白剤などを使わないでください。(ミネラルフィルターの効果がなくなります。)

D ガラス容器

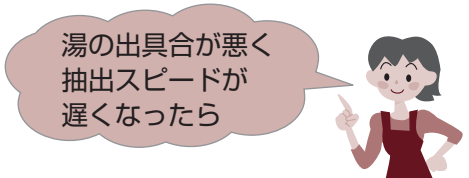
- 磨き粉・たわし・スポンジのナイロン面を使わないでください。(ガラス面に傷が付くと割れる原因)

コーヒーをいれる(お好みで楽しむ)／お手入れ

お手入れ（つづき）

使っているうちに、水の中に含まれているミネラル分が本体の水管や水容器などに付着してきます。これは「湯あか」と言われているもので、付着すると湯の出具合が悪くなり、コーヒーの抽出スピードが遅くなります。

- 水質により湯あかの付き具合が変わります。ミネラル分の多い水質（特にヨーロッパ産硬質などのミネラルウォーター）は、湯あかが付きやすくなります。



クエン酸で洗淨する

① 必ず活性炭フィルターを取り外す (P.6)

② 水容器の目盛り「ホットコーヒー 5」まで水を入れてからクエン酸約 10 g (大さじ 1) を入れて、はしなどで混ぜる

③ 電源プラグを差し込み を押して抽出する

④ を押して切り、湯を捨てる

⑤ 水だけで 1～2 回繰り返す (クエン酸のにおいを取るため)

お願い

- 活性炭フィルターを付けたまま、クエン酸で洗淨してしまった場合は、活性炭フィルターを流し洗いしてください。(クエン酸のにおいを取るため)

消耗品・別売品について

販売店でお求めください。

■ 消耗品		[2014年10月現在]
品 名	部 品 番 号	希 望 小 売 価 格
活性炭フィルター	ACA95-119-K	1,000円(税抜き)

- 交換の目安について
1日1回使用したとき：約2年(水質、使い方により異なります。)

■ 別 売 品		[2014年10月現在]
品 名	部 品 番 号	希 望 小 売 価 格
完成ガラス容器(ふたなし)	ACA10-142-K	2,300円(税抜き)
計量スプーン	ANC8330-569R	100円(税抜き)
ペーパーフィルター(50枚)	ANC362S-5370	300円(税抜き)
ジャーポット洗淨用クエン酸*	SAN-80(40 g×2パック)	280円(税抜き)

- ※ 200 g、400 g 入りもあります。
- ※ 添付の注意書をよくお読みになってからご使用ください。
- ※ 食品添加物につき、食品衛生上無害です。

消耗品・別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。
パナソニックグループのショッピングサイト
 Panasonic Store <http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックの会員サイト「**CLUB Panasonic**」で「**ご愛用者登録**」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理
抽選で商品券などが当たる

詳しくはこちら
<http://club.panasonic.jp/aiyo/>

故障かな？

(お問い合わせや修理を依頼される前にご確認ください。)

症 状	原 因	直 し 方
ボタンを押しても通電しない	●電源プラグが外れている	●電源プラグを差し込む
ボタンを押しても「ピーピーピー」とブザーが鳴りスタートしない	●バスケットや豆容器ふたが確実に閉まっていない ●バスケットふたを忘れている	●バスケットや豆容器ふたを確実に閉める (P.8・9) ●バスケットふたをする (P.8)
「ピーピーピー」とブザーが鳴り、運転が止まった	●バスケットや豆容器ふたを途中で開けた	ミルの途中で止まった またはミルが終わって止まった ●豆容器に豆が残っているときは 豆 ボタンを押す ●豆が残っていないときは 粉 ボタンを押す (P.10～11) 保温中に止まった ● 保温/取消 ボタンを押す (P.10～11)
コーヒー豆が豆容器に残る、またはひけない	●豆を入れすぎた ●豆容器ふたの内側・豆容器・メッシュフィルターがぬれたままで豆を入れた ●湿った豆*を入れた ● 粉 ボタンを押してスタートした ※スプーンで押しても簡単に砕けない豆です。	① 電源プラグを抜いてからメッシュフィルターを取り外し、豆を取り出す (P.12) ② 豆容器や豆容器ふたの内側、メッシュフィルターの水分をふき取る (P.13) ●新しい乾燥した豆でやり直す ●豆容器内側の線より上に入れない (P.8)
コーヒー粉がバスケットからあふれる	●メッシュフィルターを取り付けていない ●メッシュフィルターを確実に取り付けていない	●好みのメッシュフィルターを確実に取り付ける (P.12)
コーヒーがペーパーフィルターやバスケットからあふれる	●ガラス容器ふたをしていない ●ペーパーフィルターを確実にセットしていない ●計量スプーン5杯を越す豆(粉)を入れた ●滴漏れ防止弁に粉がつまっている ●メッシュフィルターを取り付けていない ●メッシュフィルターを確実に取り付けていない	●ガラス容器ふたをする (P.8) ●ペーパーフィルターを確実にセットする (P.8) ●計量スプーン5杯以下で入れる (P.9) ●滴漏れ防止弁をお手入れする (P.13) ●好みのメッシュフィルターを確実に取り付ける (P.12)
湯の出具合が悪く、抽出スピードが遅い	●湯あかが付着している	●クエン酸で洗浄する (P.14)

症 状	原 因	直 し 方
運転中ブザーが鳴りランプが点滅・点灯している マイルド ○——点滅 リッチ ○——点灯 または スタート ○——点灯 保温 ○——点滅	●豆を入れすぎて、詰まった	●電源プラグを抜いてからメッシュフィルターを取り外し、豆を取り出す (P.12) ●豆容器内側の線より上に入れない (P.8)
運転中ブザーが鳴りランプが点滅している マイルド ○ リッチ ○ 交互に点滅	●湿った、またはぬれた豆をひき、詰まった	① 電源プラグを抜いてからメッシュフィルターを取り外し、豆を取り出す (P.12) ② 豆容器や豆容器ふたの内側、メッシュフィルターの水分をふき取る (P.13) ●新しい乾燥した豆でやり直す
運転中ブザーが鳴りランプが点滅している マイルド ○ リッチ ○ 交互に点滅	●メッシュフィルターや、刃に豆や粉が付着したまま豆をひいた(ミルが回り続けるため強制的に止まります)	① 電源プラグを抜いてからメッシュフィルターを取り外し、豆を取り出す ② メッシュフィルター、刃についている豆や粉を取り除く (P.12)
運転中ブザーが鳴りランプが点滅している スタート ○ 保温 ○ 同時に点滅	●豆を入れ忘れた	① 保温/取消 ボタンを押す ② 豆を入れ、 豆 ボタンを押す (P.10～11)
運転中ブザーが鳴りランプが点滅・点灯している スタート ○——点滅 保温 ○——点灯	●コーヒー粉を使ったときに、 豆 ボタンを押した	① 保温/取消 ボタンを押す ② 粉 ボタンを押す (P.10～11)
運転中ブザーが鳴りランプが点滅・点灯している スタート ○——点滅 保温 ○——点灯	●水容器に水を入れていない ●水容器を確実にセットしていない	① 保温/取消 ボタンを押す ② 水容器に水を入れ、確実にセットする (P.10～11) ③ 粉 ボタンを押す (P.10～11)
●上記以外でランプが点滅・点灯している場合、電源プラグを抜き、10秒以上たってから再度操作してください。(それでも直らないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。)		●上記の処置で直らないときは、電源プラグを抜き、10秒以上たってから再度操作してください。(それでも直らないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。)
●ご使用に伴い、ミネラルフィルターが茶色に変色することがありますが、使用上差し支えありません。(交換は不要です)		
●メッシュフィルターの取り外しや取り付け、本体のお手入れで直すときは、電源プラグを抜いてから行ってください。		

故障かな？

よくお読みください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

仕 様

電 源	交流 100 V 50 - 60 Hz 共用
消 費 電 力	790 W (シャワーオートクリーニング時)
大 き さ (約)	幅 22.0 cm 奥行 24.5 cm 高さ 34.5 cm
質 量 (約)	2.9 kg
コ ー ド 長 さ (約)	1.0 m

■ミル

消 費 電 力	80 W
最大使用容量	40 g (コーヒー豆)
定 格 時 間	60 秒

■抽出

消 費 電 力	750 W
最大使用水量	670 ml (5カップ)
温 度 ヒ ュ ー ズ	溶断温度 192 °C

- 電源プラグを差し込んだだけでの消費電力

60 Hz : 約 0.6 W

50 Hz : 約 0.9 W

- この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。

パナソニック 総合お客様サポートサイト <http://www.panasonic.com/jp/support/>



使い方・お手入れなどのご相談

調理商品ご相談窓口

フリーダイヤル パナは ロクキューヨン
 **0120-878-694** 受付時間 9:00~20:00 (年中無休)

■上記電話番号がご利用
 いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル  **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
 Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)



修理に関するご相談

修理ご相談窓口

フリーダイヤル パナは イイヨ
 **0120-878-554**

■上記電話番号がご利用
 いただけない場合 **03-6633-6700**

■FAX フリーダイヤル  **0120-878-225**

便利な修理サービスサイト
<http://club.panasonic.jp/repair/>



・ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
 ・上記の URL はお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)

愛情点検

長年ご使用のコーヒーマーカーの点検を！



こんな症状はありませんか

- 電源プラグ・コードが異常に熱くなる。
- コードに傷が付いたり、触れると通電したりしなかったりする。
- 本体が変形したり、異常に熱い。
- ガラス容器の取っ手がぐらつく。

ご使用中止

事故防止のため、使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。

パナソニック株式会社 ビューティ・リビング事業部

〒525-8555 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-2号

© Panasonic Corporation 2014

CZ45-1571
S1014-10316